



発行所 鹿児島県姶良郡姶良町役場
発行者 岩根清春 編著者 梅木逸郎

(印刷所)
キング堂印刷所

町の人口動態

(昭和52年12月末現在)

世帯数	9,465戸 (+ 45)
人 男	13,671人 (+ 56)
人 女	15,310人 (+ 85)
口 計	28,981人 (+ 141)
出生	37人
死亡	21人
12月の 転入	237人
転出	113人



役場本庁前にて

読み終つたら故郷を離れている家族や知人に送りましょう

校外学習

時代とともに移り変る社会の状況を直接自分の目・耳・肌等で確かめ見聞を広める目的で校外学習が実施されています。

自分で感じたことを一つ

ノートに書いて児童

引率する係の人に難問を問

いかけ納得する児童

社会の変化に目を向けて黙々と通りもの児童

いろいろと児童の感じる型はあります。が、この校外学習を脳裏の奥底にひめて、今後学校での授業に繋いだしてほしいものです。

年頭にあたり



全力投球で町政を

始良町長

根根清

春

めでたく迎春、御無事に御越年
心からお喜び申し上げます。人そ
れぞに悩み、苦難の多い人生で
はありますけれども、初春を迎え
て、町民各位の御多幸を心から祈
念いたします。

二十三年来社会、経済情勢は低
迷混亂の中にはありますが、年あら
たまる新春の感激は、堅輝一番の
覚悟をあらたにいたしております
早いもので、この一月二十二日を
もつて町長就任、満三年を迎えて
す。地方財政窮迫の中でありまし
たが、建昌小の改築も終え、都市
基盤整備の土地地区画整理事業も南
宮島の一部を残して五十二年度で
完成いたします。農業振興地域の
県営ほ場整備も終わりに近づきつ
つあります。北山・木津志地区の
過疎の歴止め策の一つとして考慮

しました新しいコミュニティー
作りの生活改善センターも二ヵ年
継続で、食品加工施設を完備し、
昨年十一月に完成いたしました。
各部落間をつなぐ主要幹線町道の
舗装も進めてまいりました。中でも
国道10号バイパスの用地買収も
国道事務所で地権者の御協力を得
て進められておりますので、早期
完成を要請いたしているところで
あります。

昭和五十二年度の帖佐中の改築
重富中の増築も順調に進ちょく中
であります。労働省所管（雇用促
進事業団）の労働者体育センター
も各方面の御援助で始良町に設置
が決定し、役場重富出張所隣に二
月末完成の予定であります。これを
期待しているところであります。

林業構造改善事業は林道の新設

英知を集め若駒のように

町議会議長 森川重男

輝やかしい五十三年、午年の新
春を町民皆様と共に元気でお迎え
できることを心からお喜び申し
あげます。

昨年は、台風の襲来もなく農家
の皆さんには、水稻なども豊作で
あり、本当に良かったと存じます
しかし、不況は続き物価は漸次
上昇ぎみであります。本年こそは
物価の安定と福祉の向上を期待し
たいものであります。

本年は、いよいよ私ども議会も
最後の任期でありますので、議員

帶数九千四百六十五戸となり、加
世田・大口・垂水・西之表市より

人口の多い町となりました。この
ように大きくなりますと生活環境
が悪くなる恐れがでてきます。河
川などの汚染・悪臭・震動公害な
どを未然に防ぎ、町民の苦情を少
なくするため生活環境対策調査特
別委員会を、また水不足の心配を
なくするため、水資源対策調査特
別委員会を設けて鋭意・調査・研
究しております。

このほか、建昌小学校の問題も
月の遊び、過ごしかたを見ており
ますと、社会の発展とは何かと自
問自答もいたしております。私ど
もの子どもの頃の正月は、おさが
りの晴れ着・新しい下駄・餅・は
まなげ、双六がすべてで、無性に
うれしく、友と遊びの中で、心の
中に正月を刻みつけ、社会性を身
につけて、親兄弟の恩を肌で感じ
部落という地域の中で、とけ込ん
で育ったよう思います。今はテ
レビを中心とするマスコミが個々
の人間関係を封じ、子どもたちの
遊びでも変え、次代はどうのう
な社会に変貌するのでしょうか。
空おろろい氣さえももちたくない
あります。よりよい人間社会・地域
社会の建設をお互い努力いたした
ければ、いたらぬ点は町民各位の御
指導、御支援を賜わりたくお願ひ
いたします次第であります。

新春に今昔の感深しといつたと
ころですが、今の子どもたちの正
月の遊び、過ごしかたを見ており
ますと、社会の発展とは何かと自
問自答もいたしております。私ど
もの子どもの頃の正月は、おさが
りの晴れ着・新しい下駄・餅・は
まなげ、双六がすべてで、無性に
うれしく、友と遊びの中で、心の
中に正月を刻みつけ、社会性を身
につけて、親兄弟の恩を肌で感じ
部落という地域の中で、とけ込ん
で育ったよう思います。今はテ
レビを中心とするマスコミが個々
の人間関係を封じ、子どもたちの
遊びでも変え、次代はどうのう
な社会に変貌するのでしょうか。
空おろろい氣さえももちたくない
あります。よりよい人間社会・地域
社会の建設をお互い努力いたした
ければ、いたらぬ点は町民各位の御
指導、御支援を賜わりたくお願ひ
いたします次第であります。

御多幸を重ねて祈念して新年のご
あいさつといたします。

良きお正月をお過しいただき、
御多幸をお過しいただき、
御多幸を重ねて祈念して新年のご
あいさつといたします。

昭和六十年度、単独市制を目標
にして、町当局と議会が一体とな
り若駒のように元気いっぱいの活躍
をしてまいりますので町民皆様の
絶大なるご協力とご理解をお願い
申し上げ、町民皆様のご多幸を
祈念して新年のごあいさつといた

人口も問題を提起して、町政発展に寄
与しなければなりません。岩根町
政も軌道に乗り教育環境の整備・
適切な開発・土地基盤整備の拡充
都市計画・水道事業等が進められ
てきました。これらに伴い、人口
が増加してまいり、昨年十二月末
日現在二万八千九百八十一人、世

現在、建昌小は、児童数千人
を中心とした竹林の改良その他、特に
県下唯一の間伐林道の新設も本決
まりして現在下名地内に着工中で
あります。

26億円を 一般

健全財政確保の要因となつてゐる地方交付税が、歳入全体の三三・五弱を示し八億七千二百八十万円であり町の主要財源である町税は四億八千二百八十万円で歳入の一八割になつています。

課税状況において、昭和四十九年、五十年と低落を続けていた法人町民税が一六割と上昇し、また固定資産税において評価換えの行われた土地に係る分が、一三六割上昇し、徴収においても臨戸徴収の実施により七一割と高い徴収率となり調定額に対し九七割で昭和五十年度徴収率を二割上廻りました。

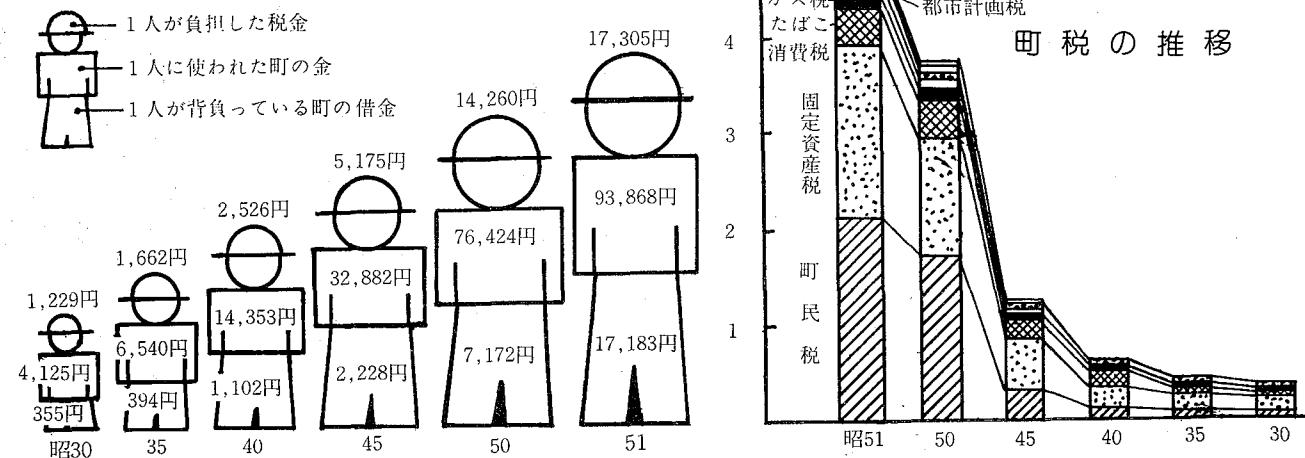
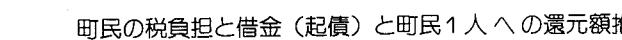
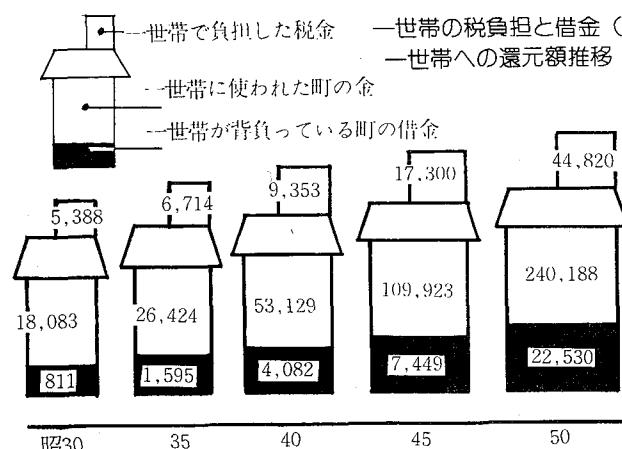
大きな建設事業においては町債を活用し積極的に取り組み投資的経費に充当されました。

歳出決算総額は一十六億千八百九十三万円に達し予算現額に対し九九百一の執行となり不用額千百六十二万円でした。

目的別にみると住民生活に直接結びつく土木費が全体の一九六で総務費・民生費・教育費・農林水産業費の順になっています。

歳出を性質別にみると、経常経費が比較的多くの部分を占めざるを得ない財政構造にあって、普普通建設費・災害復旧費・失業対策費の投資的経費が三八九弱を占め事業推進を活気づけています。

義務的経費である人件費・公債費などは昭和五十年度に比較して一八九も下廻りました。



広報あいさ

こだ町の台所

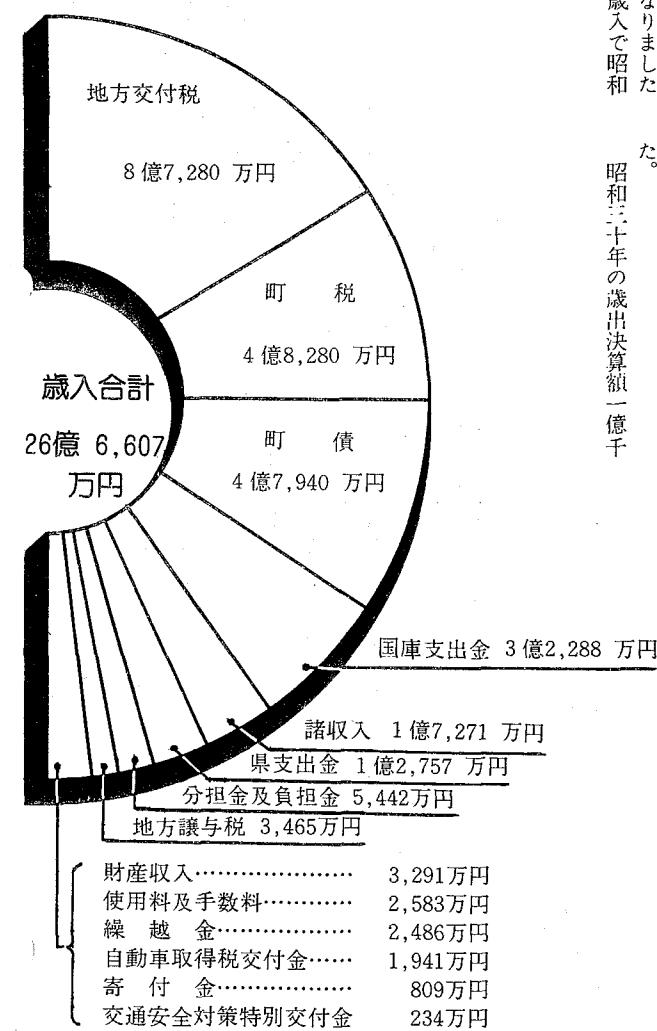
財政の動き

昭和五十一年度の財政事情の公表に伴い、昭和三十年に町村合併以来町の台所がどのように變ったかを図表を参考に掲載しました。

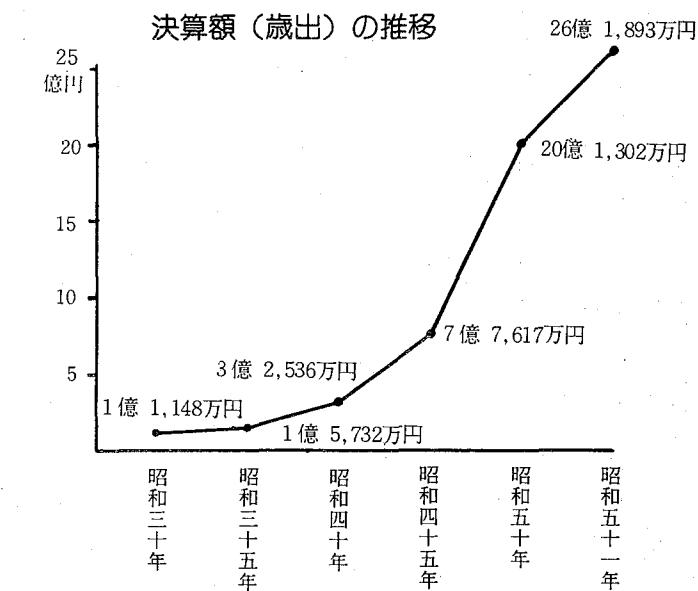
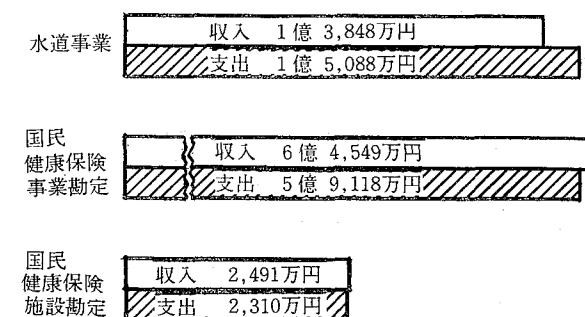
昭和五十一年度における一般会計決算額は、歳入総額二十六億六千六十七万円・歳出総額二十六億一千八百九十三万円で差引四千百七十四万円の実質収支となりました。決算規模の推移は、歳入で昭和

五十年度に一・六割の伸び率に対し昭和五十一年度は三〇・一割六億千六百七〇二万円の伸びとなりました。
歳出では、昭和五十一年度一・四割の伸び率でしたが昭和五十一年度は、三〇・一割と歳入とともに伸びました。
財政の大大幅な増大に伴い住民生活に直結する事業に積極的に取り組み、健全財政の確保に努めました。

百四十八万円に比して二十三倍にも増大した財政規模です。歳入財源の主要な町税においては町民税、固定資産税の伸びが著しく、町民の税負担・町の起債・町民への還元額推移も大幅に上昇し昭和五十一年度の財政事情が多様化していることが明確となり、予算執行に積極的に取り組んだ結果がでています。



51年度特別会計決算



51年度決算

昭和五十一年度の決算につづいて田財政の公表があつて、前半に引き継いで財源の確保をさしつけた年であります。その中で地方交付税を主体として伸びなやむ税収入、国債を通しての税収減に伴う増加する田債の財政の中で住民生活に結びつける事業を積極的に行ってきました。

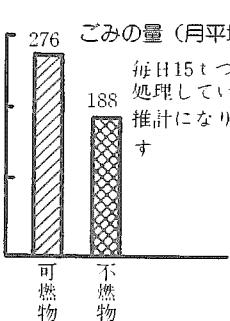
重农政策として、田道整備並びに辺地対策事業を促進し、生産道路の新設・舗装・改良を強

化して、都市計画・生活関連事業の充実・高福祉社会の建設・教育の振興と施設の整備拡充・農林水産業の振興等に取り組み予算執行にあたりました。本町の土地条件に伴う財政の多様化が急がれてしい中で、特に義務的経費の膨張等一般財源充当額の大幅な増大する傾向の中で差引支拂収支は四千四百七十四万円となり、健全財政を堅持するべく精進いたしました。

ごみの種類と量は、近年急速に増え続け、ごみ問題は深刻化するばかりです。時期的にもごみの量は多少差はありますが、各家庭から出される生ごみ・ガラス・アキカンなどの危険物・産業廃棄物とともに、ますます大きな問題となってきてる今日、わたくしたちはこのごみの被害者であります。すると同時に、ごみを出す加害者でもあります。

ふき続ける

ごみ処理予算



ごみの量 (月平均)
毎日15tとしている
毎処理推計

たでしょか。
この事業に、これまでわたくしたちは、意外と無関心ではなかつたでしょか。

生活が豊かになつた反面、わたくしたちは、ごみ公害という大きな問題を生み出したといえます。

り、現在では日本金部落の処理場で処理に当たっています。ごみを処理する費用は、わたくしたちの税金でまかなわれています。

五十一年度の一年間のごみ処理にかかる費用は、町営住宅（木造平屋瓦葺）十棟の建設費には匹敵します。

この事業に、これまでわたくしたちは、意外と無関心ではなかつたでしょか。

たでしょか。

この事業に、これまでわたくしたちは、意外と無関心ではなかつたでしょか。

たでしょか。

この事業に、これまでわたくしたちは、意外と無関心ではなかつたでしょか。

たでしょか。

この事業に、これまでわたくしたちは、意外と無関心ではなかつたでしょか。

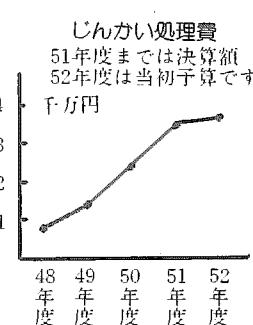
たでしょか。

この事業に、これまでわたくしたちは、意外と無関心ではなかつたでしょか。

たでしょか。

この事業に、これまでわたくしたちは、意外と無関心ではなかつたでしょか。

できないものです。
生ごみは庭先の樹木等の肥料として土に還元することで樹木等の成長を促し、またごみ問題解決の糸口もあります。



じんかい処理費
51年度では決算額
52年度は当初予算です
千円



みんなの願い 一きれいな町



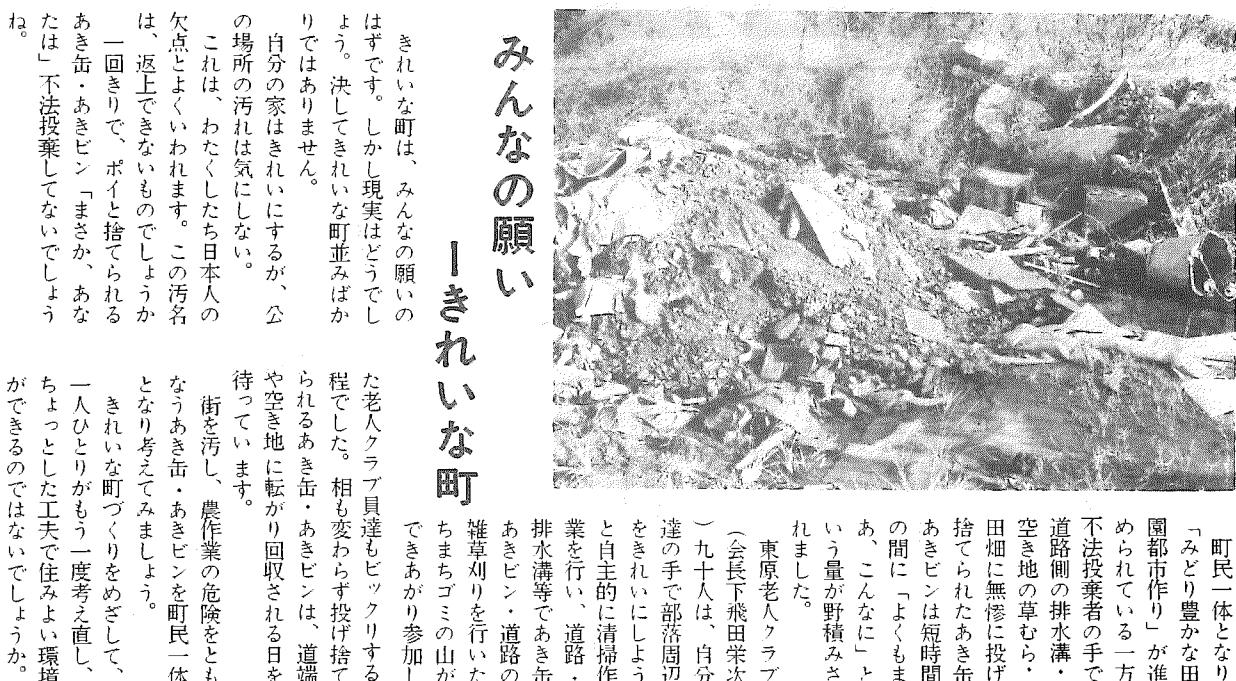
許せない不法投棄

人目につきにくいあき地などに

まれています。台所のごみは、野菜くず・魚のはらわた・茶がらなど水気が多いものです。台所から出されるごみが、生ごみといわれるゆえんもここにあります。特にこれから季節は、なかなか生ごみの乾燥がしにくく、生ごみの水分がごみを焼くことを妨げる原因ともなります。

茶がらなどの水分を切ることだけでも住みよい町づくりの実現にもつながります。

ごみの発生は、わたくしたちが生活を続ける限り、さけることのできないものではありません。



町民一体となり

「みどり豊かな田園都市作り」が進められている一方

不法投棄者の手で

道路側の排水溝・

空き地の草むら・

田畠に無惨に投げ捨てられたあき缶

あきビンは短時間の間に「よくもまあ、こんなに」という量が野積みされました。

東原老人クラブ

（会長下飛田栄次

一九零人は、自分

達の手で部落周辺

をきれいにしよう

と自主的に清掃作業を行い、道路・

排水溝等であき缶

あきビン・道路の

雑草刈りを行った

ちまちゴミの山が

できあがり参加し

た老人クラブ員達もビックリする

程でした。相も変わらず投げ捨てられるあき缶・あきビンは、道端や空き地に転がり回収される日を待っています。

街を汚し、農作業の危険をとも

なうあき缶・あきビンを町民一

となり考てみましょ。

きれいな町づくりをめざして、

一人ひとりがもう一度考え直し、

ちょっととした工夫で住みよい環境ができるのではないか?

秋の乳児健康審査で
4人の赤ちゃんが全員入賞



右から龍司ちゃん・信太郎ちゃん・光司ちゃん・かおりちゃん
かたの洋い愛情と亦
やんに対する栄養健康的成績
と優れた栄養健康の成績
ではないでしようか。
今後「子どもを生みます」
てるおかあさんがた
なお一層、優れた赤
やんに育ててください。
（一）は保護者名で
湯徳 龍司（和憲）
准特選兒
武田信太郎（健二）
鳥巣 光司（佳彦）
優良兒
池之上かおり（貞

本町においても昭和四十五年度からすでに展開され特に県内で優秀であります始良町に、十月一四日県民の健康を高める運動大会の席上で県知事から感謝状が贈られました。

この運動は、以前乳幼児の体位の低下と産婦の死亡率が高い位となりますが原因で母子健康管理に支障をきたしてしまったが、現在では、県民総ぐるみの運動を展開しているために、色々の対策が行われています。

始良町においても、この運動が第二十一回鹿児島県秋の乳児つせい健康審査の本審査が昭和五十二年十一月六日高島屋プラザ六階ホールで行われました。出場した三百六人の赤ちゃんは、各市町村で選びぬかれたいずれ劣らぬ赤ちゃんばかりで、始良町から

健康で丈夫な子供を生み育てるための「太陽の子運動」が、各市町村を中心として、県民総ぐるみで展開されています。

始良町に感謝状
太陽

陽の子運動で

展開されすでに八年を経過し、町民一体となって母子健康管理に対する意識の向上を図っています。今回県知事の感謝状にあたいます。そのものは、他町村に先がけて始良町が五十年度から始めた二ヵ月毎回の定期検診を毎月実施していることが注目されたのです。

その他、乳児の脳性マヒの早期発見

診断・早期治療及び各種疾患に対する二ヶ月児検診・十二ヶ月児検診・一歳六ヶ月児検診・二歳児検診・三歳児検診・ミルク支給など母子健康管理の向上につとめています。

も四人の赤ちゃんが登場しました。本審査の結果、特選児十五人、準特選児九十人、その他優良児一百人が選ばれ、始良町からは、特選児一人、準特選児一人、優良児一人が選ばれました。

秋の乳り 4人の

県審査で特選3点 入選1点

明るい選挙推進ポスター

昭和五十一年度の明

審査の結果、県下で特選十点

るい選挙指導が外され、作品を町選挙管理委員会が募集しましたところ、町内の小・中学校

から百四十八点もの多

アの脊柱で優秀であ
した。

右から財岡君・新穂君・上村さん・川下さん

発明工夫展で 本村君が県知事賞
こんなガードローラーを作つて

今日もまた、どこかで悲惨な交通事故が起こっています。

いのではないかという発想を基に作品化したものです。

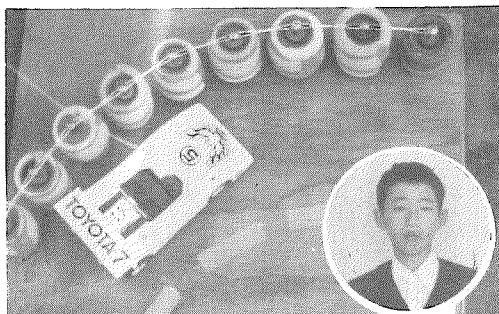
がこめられすればらしい作品ばかりでした。
町民のみなさんも子供たちの願いを大切に心に刻んで明るい選舉を行いましょう。

いのではないかという発想を基に作品化したものです。

今までに、本村君は何回となくガードレールに当たって事故を起こした現場や、カーブの多い箇所を見聞したりして、なんとか交通事故を防ぐことはできないかと試案し今回の発明工夫展に「こんなガードローラーを作つて」と出品したもののです。

したものです。
この作品は、現在全国審査に出
品中であり審査の結果を待つてい
るところです。みなさんも交通事
故を少なくする方法をいろいろと
考えてみましょう。

発明工業したガードローラーと木村要



交通事故を少なくし、平和な家庭を作るために、全国発明工夫展（県審査）が行われ、本村英之（筆者）（帖小六年）の作品が、晴れの日県文化センターで表彰されました。

田の木 やまとぎくひ
田の花 やまとばな

保護・植栽にご協力を

昭和五十二年第三回定例町議会
で制定された姶良町町木等選定委
員会条例に伴い、委員会が設置さ

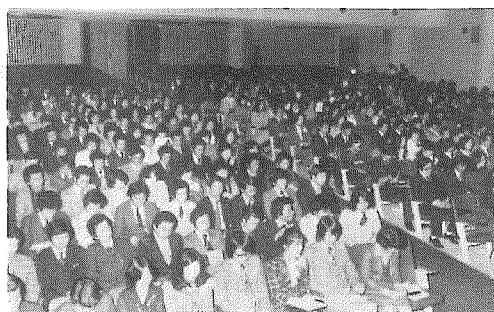
「町の花」には「さざんか」と決定され昭和五十三年一月一日より施行いたしました。

「町の花」には「やざんか」と決
定され昭和五十三年一月一日より
施行いたしました。

れ「町の木」・「町の花」について
町内の皆さんから、ご協力い
ただいたアンケートをもとに何回
となく慎重審議を重ね、「町の木」
に「やまとくら」「町の花」「
さざんか」が決まりました。

アンケートの結果は「町の木」では、一位「やぶつばき」六百八十一票、二位「やまとくら」六百七十一票、また「町の花」においては、一位「さざんか」一千五十四票、二位「いわつじ」七百七十票、七票でした。

「成人の火」をいつまでも
544人が大人の仲間入り



お祝いのことはて岩
根町長は、「今日の記念会
すべき新しい門出に自
分の行動と責任のもと

町民のみなさんも「町の木」やまざくら・「町の花」さざんかを植栽したり、また野山に散在していく「やまざくら」の保護に務め、姶良町の「町の木」・「町の花」を大切に育てていきましょう。

静なキャンドル式典が行われました。
藤崎浩君の手にしっかりと握られた「成人の火」が入場すると会場は水を打ったように静まりかえり、「成人の火」は岩根町長に渡されて新成人代表の亀沢ひろ子さん、松山みゆきさん・藤崎浩君にそれぞれ分火され成人としての灯びを刻みました。

る人間として、また大人としての義務と責任を遂行できるよう自省して立派な社会人として活躍してほしい」と励げまし、新成人を代表して豊田雄二君・萩原いずみさん・福貴迫博行君の三人が成人の主張と題して抱負や心構え等を発表し、横山美千代さんのお礼のこ

部落の交通安全祈願一覧

松原上部落には県の自動車試験場・民間の自動車練習所などがあるが、さしつく公民館では、心のこもった、ツルばあさんらからの善意のしめなわを自動車の運転に励む家庭に希望者をつのり配布されました。

松原上部落に住んでおられる原田ツルさんは、十二月二十日で満八十歳の誕生日を迎えられ、その記念として部落から一人も交通事故が出来ないようとに交通安全祈願をこめた自動車用しめなわを二



「おられました。」とひかれて、「おたがい」と書いた。

てください」とひかるおられました。

ツルばあさんは以前から元気で八十歳を迎えたら部落のために何かしてやりたい。しかし老齢では何一つ役立つものはできないと試案していたところ、ふとわら細工を思い立ち、正月にちなんで、交通祈願をこめたしめなわ作りに熱出し、二百個を寄贈したものでした。ツルばあさんは「部落全部の自動車にはいきどかないけれども私の願いをこめて安全運転に努め

尊い人命

大切な財産を守る

消防出初式

新春恒例の始良町消防団出初式が、一月六日町公民館広場で勇壮活発に開催されました。

早朝から厚い雲が広がり、太陽が時折顔を出す底冷えする天候の中で、西公園から国分自衛隊音楽隊を先頭に訓練で鍛えられた十三分団三百九人の団員、赤色回転燈を燈火した十四台の消防車が街の中心部を規律正しく、町公民館広場までパレードを行ないました。

勢そろいした町公民館広場では町長の観閲・通常点検・団旗を先頭に開催され、各分団が放水演習を行ないました。

実践的な放水演習

この日、表彰を受けられたかたがたは次のとおりです。

敬称略（）は各分団名です。

県消防協会総裁表彰

小坂照男（大山）田知行春雄（平

松湯徳武男（三叉）前田正・西

三千穂・檜松清一・中野幹男（以

上米山）

精績章

福村厚雄・松下貞治・山口喬（

永年勤続章（二十年）

藤山静夫（建昌）東清春（下名）

岡斎（北山）

小坂照男・谷口春男（以上大山）

川俣満夫・小川良清・榎田茂（以

上名）下宮路文男（三叉）志戸

を響かせながら、氏子

